



# 黎明

同窓会だより れいめい  
山形県立鶴岡中央高等学校

第 14 号

発行  
山形県立鶴岡中央高等学校  
黎明同窓会  
鶴岡市大宝寺字日本国410  
0235 (25) 5724

印刷  
(有) 杉葉堂印刷  
0235 (22) 5538



(撮影 斎藤 勝元)

昨年九月の総会で同窓会長を拝命しました坂です。前・遠見会長は、鶴岡市の消防防災の職務遂行に貢献され、叙勲の栄に浴されました。この榮譽は、私達同窓生にとりましても誠に喜ばしく誇りであります。これからも顧問としてご指導を頂き、会員の皆様と共に良い同窓会の運営に努めていきたいと思っておりますので、宜しくご協力をお願い申し上げます。

さて、母校鶴岡中央高校は創立十三年目を迎えております。記念式典も無事終了し、在校生も自分の将来の目標に向かい、爽やかな瞳を輝かせ、頑張っております。普通科と総合学科の併設による相互の特色を活かした独自のカリキュラムより創造的なビジョンを活かした独自のプログラムより創造的なビジョンを追求した、第二ステージが統合十一年からスタートしております。地域と連携し伝統産業である絹織物の更なる発展のために「シルクガールプロジェクト」として中央高校生は貢献しております。また、慶応大先端研究所の研究生が慶応大に合格するなど枚挙に暇がありません。文武両道として、部活では、陸上部の選手は、インターハイ、国体を狙える選手が数名います。

去る六月五日東京で関東支部の集いが開催されました。百名を超える参加者で成功裏に終える事ができました。未曾有の東日本大震災の中開催が危ぶまれましたが実行委員のご尽力によりまして充実した内容でありました。参加者の声に「震災後、人との繋がりの大切さを痛感しました。初めて参加しましたが、来年もまた参加します。」とありました。中央高同窓会の絆の大切さを再確認したところです。また、在校生と共に新たな歴史を創り上げるために何が出来るか、一同窓生として考えていきたいと思っております。



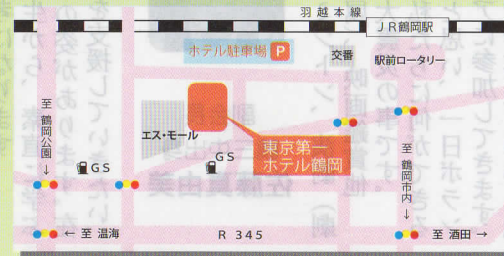
## 会長の挨拶

坂 善彦

鶴岡中央  
高等学校

## 黎明同窓会総会のご案内

期 日 2011年9月4日(日) 午後2時  
会 場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町)  
会 費 3,500円 (懇親会参加者のみ当日持参)  
申し込み 8月15日まで同窓会事務局へ  
ハガキまたはFAX(0235-25-5734)  
〒997-0017 鶴岡市大宝寺字日本国410  
鶴岡中央高校内 同窓会事務局 宛  
TEL 0235-25-5723



◆ 総会当番は 鶴西・鶴家政 = 平成4年3月卒 中央 = 平成13年3月卒 の皆さんです。

## 関東支部長のあいさつ



昭和46年  
西高卒

齋藤 仁幸

かになり、庄内弁が飛び交いました。楽しい時間はアツという間に過ぎます。来賓の方々も加わり花笠踊、三校校歌斉唱して御開きを迎えました。「来年もなつても来いよ」と声をかけ合い、会場を後にしていきました。ただ残念なことに中央高の卒業生が誰もいなかったことです。今後、本校同窓会と連携し卒業生の参加を促進したいものです。より感謝申し上げます。有り難うございました。



## 編集後記

長かった冬も終わり春が近い三月十一日、突然起った東日本大震災。津波と原発事故により未曾有の大惨事となり災害の恐ろしさ、未知の事故による不安が募ります。

地に住んでおられ家族や家をなくした方もおられる事と思います。本当に御気の毒です。同窓会として何か出来る事はないのでしょうか。御寄稿頂きました皆様、ご協力有難うございました。

五十嵐・記



校長 山田 陽介



黎明同窓会員の皆さまには、日ごろから本校教育にご理解とご支援をたまりなくお礼申し上げます。鶴岡中央高校も今年で十四周年を迎えます。最初の十年を草創期とすれば、発展期に入り多くの生徒の多彩な活躍がマスコミ等を賑わすようになりました。個性を磨きながらの自主と自立は本校教育の二大目標ですが、生徒一人ひとりがその力をも身に付けるように、教職員が一丸となって取り組んでおります。

さて、本校は今年から普通科の定員が一学級減となりました。普通科三学級、総合学科四学級、計七学級の学校となります。田川地区県立高校再編整備計画の検討も始まります。こうした地域社会の動きや将来を見きわめながら、本校のあるべき姿やその教育計画を再構築し、真に必要な教育活動を実践していかねば



門野 健治 先生

私は、鶴岡中央高等学校を最後の勤務校として退職し、七年が経ちました。鶴岡西高に十七年、中央高に四年併せて二十年を越える勤務でしたが何の功績も残さず馬鹿を重ねただけと猛省しているところであります。久しぶりに旧西高跡地を訪ねてみて、残存している校舎（産振棟）をみて感慨が湧いてきました。今から二十数年前に遡ると電算機を使っていた、初期の情報処理教育がこの施設で行われたことを。その頃の電算機は、今では、想像もできないほどの記憶容量も少なく、入力媒体も紙のマークカード方式でプログラムデータの入力をしていました。入力ミス等の訂正で消しゴムの残滓が悪影響を及ぼし、完成間近でも入力停止となり、実習効率はたかくはなかつたなあと思い出されます。その後のパソコン等情報機器の発展振りには驚愕しております。情報機器の発展とその機器を活用する

振り返って思う



伊比 加寿子 先生

家政高校には十七年間お世話になりました。転じてすぐに二年生の担任、二階のアジトに席が用意され、そう、あの場所です。小部屋はアツトホームで情報交換の場としては機能力大であり、若かったので階段の昇降も苦にならず、居心地満点でしたが一方、学校全体の流れが見えず、戸惑うことも一組佐々木、二組苦名、四組石川、五組星川の諸先生方、三組が伊比、といった布陣で良くも悪くも結束力があり、隣りの住人である佐藤浩先生と山河郁子先生を準構成員と称して巻き込み阿弥陀籤で盛り上がったたり、楽しい思い出ばかりです。

六役員紹介

① 趣味  
② 今、関心を持っている事  
③ 役員になってからの抱負



会長 藤島中出身 坂 善彦

① 最近あまりできませんが、旅行、そして読書です。  
② 地域をいかに活性化できるか、興味を持っています。  
③ 中央高の課題発表が、色々参考になります。  
④ 在校生から、素直に学ぶ自分の姿があります。在校生を支援していきたい。



副会長 鶴三中出身 佐藤真由美

① バドミントン、演劇(劇団所属)、映画鑑賞他  
② 東北震災の事です。今、私たちに何ができるのかと思います、一日ボランティアに参加していきます。  
③ 会長、幹事長を中心に他の役員さん達と黎明同窓



副会長 西郷中出身 田中 俊彦

会の発展の為、頑張りたいと思います。  
① ゴルフとコインゲームを少々  
② 人が生きるために重要な食の大切さ「食育」を、生まれ育った地で生産された食材を未来に伝える事です。  
③ 中央高校・旧家政高校・旧西高校が三位一体となり、黎明同窓会の更なる発展に寄与したいと思います。



副会長 三川中出身 日向 牧子

① 子どもと遊ぶ事  
② ずばり、「食の安全」についてです。家族の健康の源は食事なので、安心安全なものを使いたいです。  
③ 今は子育て中心で、活動に参加できませんが自分



幹事長 藤島中出身 半澤 正昭

ができることがあれば協力していきたいと思えます。  
① 読書・美術品鑑賞(特に刀剣)  
② 城・美術館・博物館・庭園巡りと郷土料理・地酒探訪の旅  
③ 総会に如何に多くの一般会員から参加してもらえるか。役員全員で知恵を出していきたい。



副幹事長 藤島中出身 高橋 勇一

① バスケ・スノーボード・マラソン  
② 世界各国の言葉や文化に触れ合うこと、いろんな国を旅すること。特にバッグ一つで旅するバッグパッカー。  
③ 「つながり」「絆」の大切さを胸に、若さと行動力を最大限に活かし中央高校を盛り上げていきます。

事務局だより

◆ 役員改選と 絆の連携強化

十年後の活動方針の一つに、役員改選の若返りがありました。それを受けて、九月の総会で会長坂善彦(48卒)、副会長日向牧子(中11卒)、田中俊彦(49卒)、佐藤真由美(59卒)、幹事長半澤正昭(43卒)、副幹事長高橋勇一(中11卒)の各氏が選出されました。

◆ 同窓会総会は 新しい出会いの場

今年も九月四日に同窓会総会が開催されます。ところが、最近の総会への参加者は、当番幹事の学年のほかが役員、理事で占められており、一般会員の参加者が少ないのが現状であります。

役員は若返りましたが、会を支えるのは会員一人ひとりの力です。とかく旧西高生や旧家政高生は母校が無くなったと思いがちですが、形は変わっても歴史や伝統は連綿と続いていると思えます。若い中央高卒生が同窓会運営の主役となり、バトンを渡せるまで会員皆様の温かい支援が必要です。どうか今まで以上に力を貸していただきます。



鶴岡中央高校除雪隊

大雪にみまわれた庄内地  
方、バットとクラブをスコッ  
プに代えて、中央高野球部  
員が二月二十九日、学校近  
くの新形町で除雪ボランテ  
ア活動に汗を流しました。  
野球部の佐藤大輔監督が、  
学校を通じて、地元の町内  
会に話を持ち掛け、町内会  
から場所を選んでもらい、  
除雪隊として出動しました。  
災害時の避難場所となっ  
ている公園などの除雪を行  
い、腰の高さまで雪が積もつ  
た公園は万一の災害に備え  
て避難路を確保する除雪が  
急務！自分の家の前を除雪  
するだけで、大変な時、若い



(庄内日報提供)

力のあり余った部員のおか  
げで、大助かりと町内会の  
人達から、大変喜ばれまし  
た。町内の一人暮らし老人宅  
や積み重ねられた雪で、見  
通しが悪くなった交差点の  
歩道、生徒の通学コースと、  
パワー全開で疲れもみせず  
に、一時間余りの作業に汗  
を流しました。  
「チームのスローガンが  
『スクラム・ベースボール』  
チームワークを大事にしよ  
うという事、地域の為にも  
なりやっつけて楽しいし、  
チーム作りにもなった」と  
主将の工藤俊弥君。  
後輩のやさしさ、たくま  
しさに、感動と感謝の気持  
ちになりました。

インドの高校生来校  
国の「二十一世紀  
東アジア青少年大交  
流計画」に基づく、  
インド訪問団の一行  
が、庄内を訪れ、同  
世代の高校生との交  
流や羽黒山登山など  
日本への理解を深め  
ました。  
今回訪れたのは、  
インドの高校生に当  
る十三〜十七歳の生  
徒十八人と引率教諭  
一人、鶴岡市内の家  
庭にホームステイを  
し、鶴岡中央高校で、  
生徒と一緒に巻きず  
し作りや浴衣の着付、  
折紙などの日本文化  
を体験しました。「巻  
き付つけて着るサリー  
とは、大違い」とみん  
な楽しげに大和なで  
しこに変身、着付後  
は、中央高校の生徒  
達と一緒に記念撮影。  
「ハイ、チーズ」  
楽しい一時を過ご  
しました。



(庄内日報提供)

23年度 重点目標と重点事項  
～ 多様な個性を磨き、18歳で自立できる青年を育てる ～

- 1 鶴岡中央高校として時代にふさわしい新しい教育ステージをつくる
- 2 一人ひとりの着実なキャリア形成を進め進路希望の実現を図る
- 3 日々の生徒指導を通じて健全な自尊感情・自律性・自主性を育てる
- 4 地域に信頼され誇りに思われる学校づくりに努める
- 5 学校運営組織を活かしゆとりある教育環境をつくる

平成22年度 進路合格・内定先一覧 (平成23年3月1日現在)

県内就職	県外就職	国公立大学	私立大学
(有)イツキ通信機 社会福祉法人けやき ㈱エルサン ブルボングループ ㈱マルハチ 平田工房 ㈱アウトソーシング 社会福祉法人ふじの里 ㈱佐藤正栄堂 東北エプソン 他	カクヤス 敷島製パン ㈱エイベックス 日本レストランシステム㈱ ㈱富士マート ビューティーサロンシーズ ㈱ツカサ ㈱東京一番フーズ 坂善商事㈱ ヤマザキ製パン㈱ 他	新潟大学 山形大学 山形県立保健医療大学 岩手県立大学 山形県立米沢女子短期大学 他	東海大学 専修大学 東北学院大学 東北公益文科大学 帝京大学 北里大学 国土館大学 他

# 総会に参加して

## 温かな時間



平成3年  
西高卒  
庄司 茂宏

月日が経つのは早いもの  
で、私が鶴岡西高校を卒業  
してから今年で二十一年が  
過ぎようとしています。  
昨年、鶴岡西高校を卒業  
してから二十年目の節目の



年に黎明同窓会総会の年度  
幹事を努めさせて頂きまし  
た。黎明同窓会総会に参加  
して鶴岡西高校と鶴岡家政  
高校の両校の歴史と伝統を  
感じ、その二校が併さり、  
鶴岡中央高校として新たな  
伝統を築き始めている事を  
嬉しく感じたのを覚えてお  
ります。懇親会では久し振  
りに顔を会わせる同窓生や  
恩師との会話を懐かしさと  
過ぎた時間を感じつつも楽  
しく、そして温かな時間を  
過ごさせて頂きました。催  
しの一つの校歌斉唱では、  
忘れていた歌詞を思い出し  
て歌うと二十年前とは違う  
重みのある詞が心に響いた  
のを覚えております。  
本年度の黎明同窓会でも  
同窓生の周りに懐かしく温  
かな時間が流れる事を願っ  
ております。

## 再会に笑顔



平成3年  
家政高卒  
小池さおり

平成三年度に家政高校を  
卒業して二十年がたち、二  
十年と言う月日は、育児・  
家事・仕事に追われあつと  
言う間に過ぎ去ってしまし  
た。そんな中、同窓会幹事  
となり開催にあたり、同級  
生の近況を聞き連絡を取り  
合い同窓会参加の呼びかけ  
を行いました。二十年振り  
先生方や同級生と再会でき  
る喜びに胸を躍らせました。  
十五年振り担任の先生との  
再会、同級生の懐かしい顔ぶ  
れと声を聞き、高校生活三  
年間の思い出話に花を咲か  
せる事ができました。先生

## 仲間へ感謝



平成13年  
中央高卒  
小島 望

中央高校を卒業してあつ  
という間に十年がたち、あ  
の頃の事を懐かしく思い出  
しています。  
今回、同窓会総会幹事と



が卒業アルバムを持ってこ  
られた事には、びっくりし  
たやら恥かしいやらでした。  
沢山の笑顔を見ることがで  
き、とても嬉しい時間でした。  
中央高校の皆様のご更なる  
活躍を心から応援いたします。

いう事で不安いっぱい気  
持ちでいたのですが、久し  
ぶりに再会した友人や初め  
て会話を交わす同級生の仲  
間と協力し合い進めていく  
事ができ、とても良い経験  
をさせて頂いたと感謝  
しています。  
当日は会場に来て下さつ  
た先生方や卒業生の皆さん  
と懐かしい話に花が咲き、  
私自身もとても楽しませて  
いただきました。  
また、参加できなかった  
方達からもハガキでステキ  
なメッセージをたくさんい  
ただき感謝しています。  
最後に、毎年総会に関わ  
り私達同窓会委員をサポート  
して下さっている事務局  
のみなさまに感謝します。  
ありがとうございました。



# 卒業生の思い出

## あの頃の自分



昭和49年  
西高卒  
高橋千代栄

鶴岡西高等学校を卒業し早いもので三十七年もの歳月が経過したことに、驚いております。

現在社会人として仕事をもち、家庭を持った生活を日々忙しく送っております。体を動かすことが好きでウォーキング・水泳・たまに里山歩きなども楽しんでます。

高校時代の親友・部活の友人とは現在もお付き合いさせていただいております。でもありがたいと思っております。職場の周りにも西高OBが何名かおり、「先輩だ後輩だ」と話が盛り上がり同じ学校を出たということだけでとても親しみを感



昭和48年  
西高卒  
榎本 博之

## 恵まれた環境に感謝

昭和四十八年三月に鶴岡西高校を卒業し、かれこれ三十八年ほどが経ちました。現在は、鶴岡市羽黒町で郵便局の局長をしています。

卒業当時の日本は、ちょうどオイルショックが話題になった頃で、物資の高騰や不足が心配されて、トイレットペーパーなどを買いたさる光景がたびたびTVに登場していたことが、懐かしく思い出されます。

その後の日本は、諸先輩のご努力により、ジャパンアズナンバー1と言われるような、世界に誇れる平和で豊かな国になったことは皆様もご存知のとおりです。しかし、その日本も気が付けば少子高齢化の波とともに、介護や年金問題などがにわかにクローズアップされ、これまで日本人が誰も経験したことのない時代



留袖で作ったネコちゃんです。

に向かっています。さらに、今回の大震災により東北地方はもとより、日本の将来が危惧される状況になっています。私達は幸いに被害の少なかった庄内に住み、これまでと同様の生活を送ることが出来ます。また、かけがえのない自然や文化、大切な家族や友人もいまだ変わらず、今後も共に将来を語り合い、未来を築いていくことが出来ます。

## 今 思う事



昭和45年  
家政高卒  
石井 睦子

この当たり前とも言える環境に感謝し、大切にしながら、皆様と共に活気に溢れるふるさとを創りあげていきたいものです。

すると早速制服着て週末に通い、「不良の溜まり場に入りにするのは善くない」とクラスで問題になったり、「卒業旅行に行こう」と仲良し六人で瀬波温泉にも行きました。先生からは「なにかあったら卒業出来ないよ」と言われた事も覚えています。

家政高に入学して友と呼べる人に巡り合えた事、一緒に過ごした楽しかった日々、今は親友として付き合える事は私の幸せと思っております。

今も昔も友を持つ幸せは変わらないと思うのです。在学中の若人も一生付き合いえる友を是非みつめてほしいと思います。

現在、その友を含めて「えとせとら」というグループを作り着物等の和布でバッグや飾り物など作り、松が

岡クラフト展やギャラリーを借りて展示・販売をしています。直接お客様と対応しながら販売することで自分のエネルギーにもなります。老眼鏡の力を借りながらももう少し頑張ろうと思っています。

## 学びは宝



昭和42年  
家政高卒  
菅原 市子

女子高での三年間の学びは、女性としてあるべき基礎知識を、教えていただいたと思っております。振り返ると、数々の検定には、毎回悪戦苦闘。食物検定は、定時間内でのキュウリの薄輪切り。毎日帰宅後輪切り練習、夕食には、キュウリのサラダ、酢の物のメニューに変身。縫製では、布の丸みを、バイヤステープで包み縫いなど。検定をクリアしてその甲斐ありかなしか、輪切りは完璧、縫製も洋服の作成、趣味にも生かすこ

## 夢を諦めないで



平成13年  
中央高卒  
小野寺有紗  
(旧姓 稲田)

鶴岡中央高校を卒業して、十年が経とうとしています。この春、長年の夢がやっと叶い三川町立東郷小学校で教師としてのスタートを切りました。

結婚・出産をし、教師になるという夢を諦めそうになったこともありましたが、でも、遠回りはしましたが、たくさんの人に支えてもらって、今の自分がいるのだと思えます。

まだ教師になったばかりですが、子どもたち一人ひとりのことを考えると、とても責任のある仕事だと痛感しています。まだまだ勉強不足で、反省と発見の毎日ですが、子どもたちの笑顔に日々助けられてがんばっているところです。

四月に出会ってから、普段の学習だけでなく、様々な行事もある中で、子ども

## 挑戦中



平成14年  
中央高卒  
阿部 幸

平成十四年度に中央高校を第五期生として卒業しました。

現在は株式会社清川屋、酒田イオン南店の店長を務めています。

卒業して清川屋に入社してもう九年目になります。今の職業を選んだ理由は、

「接客がしたい」という単純なことだったと思います。店舗数が多く、異動も頻繁にありましたが、飽きっぽい私には逆に合っていたのかも知れません。

店長になったのは昨年の十月で、まだ経験も浅く、試行錯誤の日々です。

私が目指していることは、「お客様も自分達も楽しく」ということです。仕事って、自分で楽しみを感じてやれば、周りの人に伝わるものだと思います。

売上とか、サービスとかもちろん重要ですが、私は店の雰囲気をもっと大切にしています。

個人の個性や能力を發揮できる店づくりが、店長の仕事だと思えます。

常に課題は山積だし、不安も多いですが、職場の人間や友人、家族に支えられ充実した日々を送っています。

何だかんだ理由をつけて、あきらめるのは簡単です。大切なのは挑戦すること。失敗したって知識として身につく大事なことです。何歳になっても何にでも挑戦できる人でいたいです。